股関節周囲骨折術後の機能成績に関する後方視的調査

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2012 年 4 月 1 日より 2026 年 3 月 31 日までに当院外傷センターで骨接合術を受けた/受ける股関節周囲骨折の患者さまを対象とします。

2. 研究目的・方法

股関節周囲骨折骨接合術後の患者さまの動作獲得・自立日数、股関節外転筋力、歩行時痛の有無、下肢荷重率、修正タイムアップアンドゴーテスト(Timed up & go test: TUG)、股関節日本整形外科関節機能判定基準(Japan orthopaedic association score: JOA スコア)、Harris hip score について当院における治療成績を明らかにすることが目的です。 また、各骨折型での特徴を明らかにし、より効果的なリハビリテーション方法の検討を行います。

研究期間:施設院長承認後 ～ 2028 年 3 月 31 日まで

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

性別、年齢、病歴に関する情報(部位、骨折型、術後免荷期間等)、既往歴(リハビリ開始時までに治癒した疾患)、動作獲得・自立日数(起立動作、平行棒内歩行、歩行器歩行、杖歩行)、股関節外転筋力、歩行時痛、下肢荷重率、修正 TUG 、股関節 JOA スコア、Harris hip score 等。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院 リハビリテーション科
荒木 浩二郎(研究責任者)
札幌市厚別区大谷地東 1 丁目 1 番 1 号 TEL:011-890-1110(代) FAX:011-896-2202

(第 1.3 版 2026 年 3 月 26 日作成)
雛形 2018.5.31